

第3回敷島地区地域審議会会議録

1. 日時

平成25年2月7日(木)

10:00～12:00

2. 場所

甲斐市役所 敷島庁舎 会議室1

3. 会議次第

1、開会

2、会長あいさつ

3、企画政策部長あいさつ

4、報告事項

① 敷島庁舎跡地利用

(仮) 敷島子育てひろば及びファミリーサポートセンターについて

② 甲斐市まちづくり基本条例について

③ 甲斐市地域審議会委員アンケート調査について

5、その他

6、閉会

4. 出席者

(ア) 出席委員〔7名／7名〕

(イ) 事務局

土屋企画政策部長、有泉秘書政策課長、中込敷島支所長、服部子育て支援課長

秘書政策課総合政策係：石合係長、石原主査、小澤主査

5. 報告事項における主な質疑

①敷島庁舎跡地利用

(仮) 敷島子育てひろば及びファミリーサポートセンターについて

・ファミリーサポートセンターは、急な場合会員登録をしなくても、利用できるか。

⇒事前の登録制度だが、急遽であれば、便宜を図る。

・子育てひろばと児童館の利用者の違いについて

⇒子育てひろばは、3歳未満とその保護者と利用者が限定されている。児童館はその制限は無く
高校生までは利用できる。

・ファミリーサポートセンターは、将来的に収入に応じて料金を変える判断が出てくるのか。

⇒課題等は無いので現状でいきたい。

・子育てひろばの平成23年度の事業費の増加理由並びに敷島地区の園児数の推移について

⇒事業費の増加理由は、竜王東児童センターの2階改装によるひろばの建設費及びひろば増設による人件費。市の園児数については、0から5歳児までは、平成17年度から毎年約1%ずつ減少している。なお、しきしま幼稚園の廃園の理由は、子どもの数の減少よりも、経済情勢による就労形態の変化などの理由による保育園需要の拡大並びに市内私立幼稚園の定員割れの状況

を総合的に判断した。

- ・平成 27 年度にしきしま幼稚園が閉園による市の財政効果について

⇒1,000 万円位の園の維持管理費が減少する。なお、園の職員は、異動対応となるため、人件費の効果は直ぐには無いが、将来的には削減となる見込み。

- ・幼保一体の国の考え方

⇒将来的に幼稚園が無くなり、保育園一体型のこども園に変わっていく。

- ・甲斐市の保育園での特別メニューについて

⇒英語の教育を実施している。

- ・敷島庁舎東側の職員駐車用跡地利用について

⇒子育て支援課での案として、運動会や保護者会、総会といったイベント時での駐車場として利用を検討している。

②甲斐市まちづくり基本条例について

- ・大変分かりやすく、十分に模範となる。

- ・この条例自体を監督する所管はどこか。

⇒実践の部分では、市民活動支援課ではないかと検討している。

- ・まちづくりを市民総参加で推進していくのにあたり推進会議の設置について

⇒一つの案として考えられるが、市民意見を把握する手法は確立されているため、まちづくりの推進についてチェックする機関が必要と考えられる。

③ 甲斐市地域審議会アンケート調査について

- ・事務局でまとめて会議録と一緒に送付する。(別紙)

④ その他

- ・芝焼きの延期のお知らせの報告

- ・敷島支所南側への物置の建設の報告

- ・焼酎大次の販売の報告

- ・甲斐市水道局料金改定の情報提供

- ・市民の浄財による竜王駅への大式銅像建設の情報提供

- ・大袋大久保線完成の報告

- ・甲斐市の警察署設置について

⇒市長会を通じ、強く要望を続けているが、警察本署の建設、富士吉田警察署の老朽化、2つの課題解消後になる模様

- ・ハザードマップについて地域審議会では情報提供して欲しい。

⇒今後、情報提供する。